

フォトニュース

香り豊かな新そばに舌鼓



交通死亡事故ゼロを更新中



一人ひとりが人権意識を育てよう

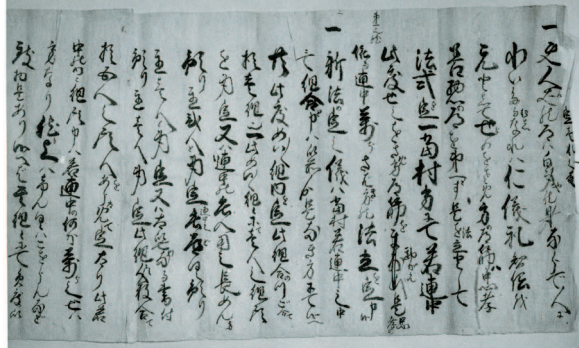


▲12月5日、文化体育館で「人権を考える町民のつどい」が開催されました。人権啓発作品の表彰に続き、落語家 露の新治さんによるお笑い人権高座が行われ、一人ひとりの人権感覚を磨く、心温まる講演会でした。

▲12月5・6日、道の駅いながわで「新そばまつり」が開催され、約7000人が来場し、奉仕市などが行われました。また、新そばの手打ち実演も行われ、参加者は手際よさに見入っていました。子どもから大人まで、豊かな猪名川の恵みに舌鼓を打ちました。

青少年が支えるコミュニティ
江戸時代、地域コミュニティを支えた組織のひとつに「若者組（若連中、若中など）」がありました。元服を終え、村の構成員となった「若イ者」は「若者組」に入り、祭礼の準備や運営、夜回り、火事や災害時の出動、村普請などの中心となり、「若者組」の村政への影響も大きなものでした。

「若者組」は、おおむね14歳から25歳位で構成され、長幼の序列、規律が厳しく、当時の青少年はその中で農業や生活の技術を習得、村の慣習や礼儀作法などを学んで一人前の村人となりました。



▲若連中定書

柏原には文政9（1826）年の「若連中定書」が残っています。規則を破る者は5日間、無期限の制裁が与えられました。

「若者組」は時に喧嘩などで暴走し、幕府から解散令が出る事も度々でしたが、近代には「青年団」として受け継がれ、町内でもその活躍が地域コミュニティを支えています。

姉妹都市パララット市から高校生が来訪！



▲町国際交流協会では、11月29日から12月10日の12日間、姉妹都市パララット市から高校生を受け入れました。期間中は、ホストファミリー宅で滞在し、町内の学校や施設を訪問し、ウェルカムパーティー&国際交流パーティーなどに参加して交流を深める一方、着物の着付けなど日本文化も体験しました。



公園を花でいっぱいになろう！



▲11月20日、みはらし公園で花づくりグループ「HANA・HANA（華・華）」さんが花の公園づくり活動として、公園に花を植えました。

町では、住民参加の公園づくりに取り組んでおり、そのひとつとして花の公園づくりを行っています。現在この活動は、町内で9団体活動されています。

▼土の中をほっていくと…大きなお虫が!!うれしくてどんどんほっていききました。
久保 翔太くん（1年）



五年 西門 未帆
成長

▲しなやかななか、力強さを感じる作品です。
西門 美帆さん（5年）



阿古谷小学校

六年 辻 涼太
熱意

▲まさに熱い志が感じられる希望いっぱいの作品です。
辻 涼太くん（6年）

▼楽しくおどっているトラの様子がおもしろいですね！
辻 愛里さん（4年）

